

4月の暮らし  
国土緑化運動  
強調週間

緑の羽根募金運動



所者長 川西町役場 編集人 星名四郎  
発行町 川西村中 印刷所 星白1 名南5 風社  
発発 ( 中村吉 ) 定価 1部 5円

人口の動き  
4月1日現在  
男 6,766人  
女 6,996人  
計 13,762人  
世帯数 2,722世帯

新年度の町財政並びに事業計画の大綱を審議決定する三月の定例町議会が、実質五日間の会期中に合せて四十二件を議して三月二十四日予定どおり幕を閉じた。通常「当初予算議会」といわれているこの定例会は、審議内容の量質ともに年間を通じて他の定例会とは比較にならない規模と重要性を持っている。

審議の主体は何といつても新年度予算で、中でも総額一億一千八百万にのぼる一般会計予算に最も多くの審議時間が割かれたことはいうまでもない。この一般会計の

額は、過去六年間逐年増加の一途をたどってきた当初予算の規模の中で、こゝしも最高を記録する数字であつて、町村合併による地方交付税の特例が打ち切られた才一年目としては、予期以上の規模となったものである。

予算としては、このほか新年度分特別会計五件、三十六年度分一般・特別会計の追加更正五件、合わせて十一件で、これらの総計は二億を上まわる巨額となり、又宇都宮市とあり予算議会という名にふさわしい内容であつた。

予算以外の町長提案案件として(関係記事は二面と三面に掲載)

# 新予算等を議決 盛りだくさんの定例会終わる



は、前号でもお知らせした、固定資産税の臨時増徴に関する条例、五件、町職員退職手当組合設立の件、その他七件で、ほかに議員提出の意見書一件、議会会議規則の改正一件が審議されたが、以上はいずれも原案どおり可決された。なお、住民から提出されていた十五件の請願については、六件が採択され、九件がそれぞれ所管の常任委員会に付託されて継続審査となつた。

## 町の行事

- 十二日 国保運営協議会
- 十三日 町長、議長、固資審査委員上京
- 十四日 町長、国鉄給電自治庁訪問(午後審査委員会)
- 十五日 審査委員会 給食施設×1カ所視察
- 十六日

## 青少年の保護育成

時期尚早論やら、立入調査及び警察の介入についてと多くの議論があつた「新潟県青少年保護育成条例」が四月一日から施行されたこの条例は、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為から青少年を保護し、その結果青少年の福祉を高めようという目的をもつて、このため、ひと、こに言つと、積極的策を行なう県の責務を明らかにして、その支点となる消極的規制を掲げて社会環境の浄化に對する成人の反省を求め、育成の支点となる種々の規制を、以下、この条例の中からひろつてみる。

- 十七日 議員研修旅行(名古屋、浜松方面)
- 十八日 町長、議長外建設省、農林省訪問
- 十九日 社会福祉協議会
- 二十日 農業委員会
- 二十一日 全町囃子員会議(役場)
- 二十二日 川西中学校建設委員会
- 二十三日 天皇誕生日
- 二十四日 臨時町議会

## 町づくり

な育成を阻害するようなおそれのあるものは青少年に見せないようにする。このほか、

- ◎ みだらな性行為及びわいせつな行為の禁止
- ◎ 場所の提供及び周旋の禁止
- ◎ 物品の買入れ及び買受けの制限
- ◎ 危険物所持の制限
- ◎ 深夜外出の制限

など、青少年の育成に悪い影響を与えると認められる社会人(成人十八才以上の者)の行為を規制の対象としている。

1974.4.21

予算質疑から

町長答弁

微細にわたつて慎重審議

いなめない人件費増

三十七年度一般会計予算の内容については、別項の解説にゆづることとして、次に審議過程における質疑の要点を一問一答の形式で紹介する。

【役場費】

問 職員定期昇給についてはどのように考えているか。また、通勤手当は合併当時の特例をそのまま実施しているが、給与が人並にならば考慮を要するのではないか。

答(町長)定期昇給については、だいたい一万二千円以下の者についてだけ計上してある。通勤手当については、合併町村の特殊事情から、各部落への連絡上必要である。給与が上がれば多少安くしてもよいとは思いますが、ことはこのままにしたい。

問 役場費が膨大であるが、定期昇給についての答弁がアイマイである。老朽淘汰にしても、人材登用にしても、もう少し英断をもって計画的に実施していただきたい。勸奨退職を時限条例で実施する考えはないか。

答(町長)十分皆さんの気持を尊重して英断を下したい。先般の機構改革で住民相談室を作ったが、無理が行くようであれば、これを生かしてゆきたい。農業共済組合を町へ吸収する問題もある。職員組合とも相談したいと思つているが、この点まだは

【消防費】

問 永久公舎用消防ポンプ設置についでのお考えを承りたい。

答(町長)結論として、町で買って備えてやらなければならないと思う。固定資産税の増徴について給電からどういふ話が来るか、まだ不明であるから、納税される見通しがついてから追加で計上したい。

【土木費】

流雪溝は水量が先決

問 上野、新町間県道の未改修部分道路交通制限にひっからさないか。

答(産業課長)正式に告示すればバス、大型トラックの運行はできなくなる。いまのところ従前どおり運行できることになると思う。

問 下原、木落線については、町道としてなら地元負担四割というところであるが、今回の説明では半額ということであった。地元は納得しているのかどうか。

【教育費】

問 オ一、教員研修費と校内研究費について、研究費、研修費の表現が各校マチマチである。校内は、研究費、職員は研修費、と用語の統一をはかるべきではないか。

答(町長)予算はつけていないが融雪後委員会から現地を見てもらった上で追加更正で予算措置したい。

問 オ二、県指定、NKKの指定となっている青年学校級について旅費の削減は遺憾である。これは生徒の研修旅費ではない。これで不足しないか。

答(教育長)オ一点、ご指摘のとおり統一したい。オ二点、青年学校級旅費は、主事、講師の旅費、大会出場の旅費である。年間五千円では無理であるから足りなくなった場合は善処したい。オ三点、研究する。川西中学校付近にバスの停留所が必要なのではないか。

【保健衛生費】

問 公衆衛生推進委員設置助成は手当てに相当するののか。

答(衛生係長)この委員は部落設置であるから、手当てすることには誤りである。

問 伝染病の発生状況並びにその伝染経路等について説明願いたい。

答(衛生係長)現在三十五番目の患者が出ています。これまでの経費五十三万である。感染経路については、はつきりわからないというのが通例である。

【産業経済費】

問 防除器具は開田地帯に優先配当

問 建設機械の件で伺いたい。ブルドーザーも一台では不十分であるが、シヨベルつきをもう一台購入する計画はないか。

答(町長)役場としては一応県補助を申請したいと思つているが予算化にまではいっていない。結局は借金で買うことになる。それでも損ではない。

問 財産収入の町有土地払い下げについて、三十六年度は五十万であったところ、本年は三百五十万である。実績から見ると収入見込みはどうか。

【税入】

税増徴は広報を通じてPR

問 本年は大規模の予算である。追加更正等収入の見通しについて(三ハーツ最下段へ)

答(町長)川西中建築費の余儀ない事情で計上したもので、多少は無理がある。隣地の所有者が買えない場合は競売に付す予定である。

問 本年は大規模の予算である。追加更正等収入の見通しについて(三ハーツ最下段へ)

一 新年度予算のあらまし

普通会計一億三千万円

総務課長 田口一男

昭和三十三年普通会計予算は一般会計と川西中学校建築会計を合わせて総額一億三千八百一十一万二千円にのぼる規模のもとに議決された。

これは前年度当初予算に比べて、約千八百万円(約一割三分)の増加を示したことになる。

新年度予算の編成にあたっては継続事業として執行を約束されている川西中学校建築費の大型化その他需用費の増高に對し、いっぽう住民福祉事業の推進とをいかに両立、調整、あはばいするかについて、この一月以来慎重に検討を重ねた結果、一部の増税を行なうとともに、特に消費的経費は極力節減につとめ、その分を事業費へ振り向け最も効率的予算の編成に十分なる配慮をもって対処された。

前述の川西中学校建築の遂行と町営診療所の運営等をめぐり、当分はきわめてきびしい財政事情のもとに推移するであろうことが予測される。以下普通会計についてその概要を報告し、今後の町政運営についていっそうのご協力をおねがいしたい。

歳入について

一、町税収入において約七百二十六万八千円の増加がととのっているが、これは事業費の増加にともなつて臨時に固定資産税の増徴を図つたのであるがこれも主として国

鉄よりはる固定資産税の増加である。

二、地方交付税は本年度合併特例による適用期間が終わったので大巾に減額されることになるのであるが、これが激減緩和措置として特別交付税の増加交付を期待してわずかの減少にとどまった。

三、財産収入はいちじるしく増えたのは町有地売却収入が主なるもので三百五十万円見込み、ほかに貯金利息、配当金収入、建物貸付収入等が見積られてゐる。

四分、担金及び負担金の内容については消防・土木事業の地元負担金約百十六万円と千手保育園へ保育料収入五十四万七千円が加わつてゐる。

五、使用料及び手数料のうち使用料はブルトーザー使用料収入を百二十万円、ほかに火葬料、学校等の使用料が計上されている。

六、手数料は戸籍関係の手数料三十三万一千円を見込み、この款においては約五十一万円の減少となつた。

七、寄付金は大中増の百五十三万四千円は室島林道工事に伴うもの約百三万円、千手小学校給食施設工事に伴うもの二十万円及び桶診療所の用地買収に伴うもの三十万円

六、国、県支出金は本年度特殊なものとして室島林道補助金及び参議院議員選挙費委託金等が含まれて約二百九十五万円の増加をみた。七、寄付金は大中増の百五十三万四千円は室島林道工事に伴うもの約百三万円、千手小学校給食施設工事に伴うもの二十万円及び桶診療所の用地買収に伴うもの三十万円

でいずれも地元寄付金として計上された。

八、雑収入の主なるものは産業育成資金の戻及び町の貸付金回収金の二百万円、ほかに予金利息、国民年金印紙完済ばき料収入等が計上されている。

歳出について

一、議会費及び役員費の内容は人件費、事務諸費であるが昨年度に比べて両者合わせて約四百八十四万円の増を示した。主として人件費物件費が増した結果である。

二、消防費は若干減額となったが、消防力の充実については本年も小型動力ポンプ二台購入及び防火水槽、火の見やぐらの設置及び消防器材の購入等防火対策の推進が図られてゐる。

三、土木費のうち道路、橋梁の改良整備及び災害復旧工事の促進等について国県工事分及び町単独工事面者合わせて総額約三千二百七十五万円を実施する態勢を備え、またこれに付随する諸費の計上がなされてゐる。

四、教育費予算は昨年対比三百二十万円の増である。特記すべきものとしては本町では始めての試みとして行なわれ、千手小学校の給食事業に對しその施設費として二百十万円の予算が計上された。

この施設費のほか人件費、物件費等が増した主因であり、また千手中学校と分離される十日町高校千手分校の施設費の整備、へき地児童の通学のためバス代支給等も新しい事項として予算化された。

五、社会及び労働施設費は住民福祉対策費、国民年金取扱費、町立保

育園費及び失業対策事業費等が含まれた予算である。特に本年度は季節保育所の設置経費が七万八千円の増加となった。

六、保健衛生費は昨年比べて四十万円の減少となったがこれは事業費の減少に伴うものであって、内容については伝染病予防、環境衛生費、結核予防費及び寄生虫除菌費等が含まれていて実質的な保健衛生対策についてはそれぞれ昨年度に見合った予算が組み込まれてゐる。

七、産業経済費は約六百二十一万円の減少となったが昨年度はブルトーザーの購入費、国土調査費等が含まれていたため、実質的には増えた予算である。本年は特に商工業者への育成資金の枠の拡大、農業事業団体の育成費、病虫害予防土地改良事業及び養蚕、蚕の振興費等一連の産業振興整備促進の対策が予算化され、ほかに災害耕地の復旧工事には特別会計(総額千九百万円)を設置、これが対策を積極的に推進してゐる。

八、財産費は本年二百八十三万といふ大巾増加となつてゐるが、この主なるものは町営診療所の用地買収費、及び住宅移築費等である。本款の経費はほかに千手グラウンド用地買収費及び町有財産の維持管理費に充てられてゐる。

九、統計調査費は昨年度とほぼ見合つた予算であつて関係当局における各種産業の振興施策の重要資料の基礎となる農林統計、工業及び商業統計等の人件費、事務費よりなつてゐる。

十、選挙費は通常の選挙管理委員会の人件費、事務費のほか本年七月

に執行を予定される参議院議員選挙費として二十六万円が計上されてゐる。

十一、公債費四百四十三万円の内容については主として今までの学校建築費の借入金の元利償還金であるが他に一時借入金利息が見積られてゐる。

十二、諸支出金については昨年対比大巾に約一千万円の増加となつたわけであるが、これは国土調査費の産業経済費よりの組替計上したこと、学校建築会計繰出金の増加及び本年四月発足する県町村職員退職手当組合負担金等が主因をなしてゐる。

なお内容には徴税費及び郡、県に設けられてゐる各種団体の義務的負担金及び補助金、交付金等が含まれてゐる。

十三、予備費は予算超過及び新規支出の所要財源に充てるため百八十一万円が計上された。

十四、次に建築費二年度を迎えた川西中学校の建築予算は総額二千七百六十五万円が計上されてゐる。この内容は現在工事に引きついでその西側に九教室及び便所を建設しようとするものである。この建築工事に併行して現在の千手及び上野中学校校舎の移築工事も考えられてゐるわけであるが、財源としてはまず一般会計よりの繰入金千四百万円と国庫補助金五百六十五万円を計上し、さらに長期起債八百万円の借入れによつて財源措置を講じた次第である。

おわび 三月号の一面に掲載した川西中学校々歌中不明の点があったことをおわびします。

【教員住宅問題】

問 教員住宅料が収入に計上されてゐないのはどういふことか。住宅料をもっと安くしてほしいという利用者の声もあるが、その点どうか。

答(町長) 予算に計上する支出にも出さねばならぬ。差し引きトントンといふことで、計上しても意味をなさぬ。減免については、住宅利用者はきわめて一部の者であるから慎重を要する。今は校長住宅というものはない。校長、教頭でない中堅教員からはいつてもらいたいのと思つてゐる。住宅事情からも普通とは違ふ。

問 教員住宅に対する住宅料はどのような状況か。  
答(収入役) 三十六年度中は、条例の半額を徴収することになつてゐる。  
(町長) 教育委員と校長はまだ猛反対してゐる。しかし、高いというものではない。





### 戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- 数藤 幸一 壮一長男 中屋敷
- 数藤 幸之 和市二男 山野田
- 小海 和美 益男長女 小根岸
- 渡實不二男 正義二男 新町
- 富井美佐子 隆二女 上野
- 丸山 昭二 吉太郎三男 深
- 和久井伸一 富夫長男 木落
- 高橋 数昭 高若長男 仁田
- 保坂 好 功 長男 大白倉
- 高野 弥生 金治二女 室島
- 齋木 晋 新一長男 高倉
- 齋木 美子 良之長女 高倉
- 高橋 則夫 重信長男 高倉
- 登坂佐由利 敬政長女 中仙田
- 登坂みどり 寅藏長女 岩瀬

### 昇天—御めい福を祈る

### 犬の登録と

### 狂犬病予防注射

本年度の犬の登録と犬一回予防注射を次のように行ないますから犬の飼主は忘れないで当日の時間内に受けてください。

- 四月十九日 十時—十一時 上野連絡所前
- 四月十九日 十三時—十五時 役場前
- 五月一日 十時—十一時 桶出張所前
- 五月二日 十時—十一時 仙田出張所前

登録手数料 三百円

- 数藤 富二 沖立 七一
- 数藤 ノヨ 沖立 八五
- 柄沢 コノ 沖立 八四
- 南雲 セイ 中央町 七九
- 中村 イエ 坪山 八九
- 春日 エセ 神社町 八二
- 市川 順吉 平見 七九
- 太田 和美 田中 〇
- 上村キヤウ 下平新田 六六
- 小海 貴作 上野 七三
- 水品 キク 三領 五八
- 高橋 セツ 三領 二二
- 渡實フジノ 新町新田 七八
- 片桐由太郎 野口 六〇
- 滋野 マツ 野口 八〇
- 戸田 久治 仁田 七一
- 村越恒太郎 野口 七五
- 藤巻 やき 塩辛 八〇
- 藤巻 セン 塩辛 七二
- 登坂 トワ 岩瀬 六三
- 桑原 庄蔵 桐山 七二

### 魚介類行商者の登録とその更新

魚介類行商は、例年のとおり登録更新の時期になりました。魚介類の行商をしている人は、登録の更新、又は新規の登録を必ず済ましてください(印鑑持参)

1. 期間 四月三十日まで
2. 場所 役場衛生係
3. 手数料 更新 百円 新規 二百円

### 庁内人事

#### 新採用者

大井芳子(災害) 小林キミ(国保) 五十嵐一男(国保) 押木

### 年金問答 ⑧

**問** 国民年金法は全国民に強制的に行なわれるものと聞いておられます。しかしある部落では届出を拒否、そして保険料の納入を拒否しているようですが、そのような事ができるのでしょうか。正に届出をし、きちんと保険料を納めているわれわれには納得しがたいことです。

**答** 確かに国民年金法は全国民に強制的に適用されるものであります。法治国において、ひとつの立法として法が施行された以上はすべての国民がそれに従う義務があります。その理由がなんであると、それを拒否し、それをこばむことは許されないので、あなたのいわれる届出を拒否し、また保険料の納入をおこなう者があるとするなら、国民年金法においても必ずそれは個人的に不利をまねく結果となるのです。では届出をしなかつたり、保険料を滞納した場合どうなるか具体的に示してみましよう。

国民年金法は老後の保障を目的としたものであるが、そのほかに身体に著しい障害を受けた者、夫が死亡し子どもをかかえた母子世帯、準母子世帯、両親をなくした遺児などと人生における幾多の事

#### 退職者

久之(税務) 丸山京子(庶務) 渡辺千恵子(税務) 渡實栄(園士) ( )内は保名

産業課黒島ナオ(勤務年数八年) 財政課大溪 紀(勤務年数四年)

### 三月町議会定例会 議決された 条例

- ◎川西町固定資産税の臨時増徴に關する条例
- ◎川西中学校の建設費にあてられた昭和三十七年度から三十九年度、臨時に固定資産税の税率を百分の一・七として徴収し、その間は国鉄、電力会社等に対しても不均一課税をしない、というもの。
- ◎川西町報酬、費用弁償並びに実費弁償に關する条例の一部改正
- ◎川西町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◎川西町一般職の職員の退職手当に關する条例の一部を改正する条例

### かわにし俳壇

太田白南風 選

岩瀬 登坂 桂子

空見にうつる模様や春の帯

小白倉 江口 凡石

一枚の畳に日脚伸びにけり

小白倉 田中 緑風

飛行雲伸びたる果の春かすみ

小白倉 北堀 寛治

春雪に梅一輪の走り咲き

元町 金子 鉄平

餅草の青く芽生えし野火のあと

### 編集後記

近年は広報時代とか、各村、公民館、町、県と各機関で発行する広報、公報紙はおびただしい数にのぼり広報ブームとまでいわれています。これらの研究会、研究誌等も多くなり全国広報大会も開かれています。見ても楽しいながら町政を理する楽しく美しい広報紙へと進んできているようで、色刷りいっぱいの写真面と各地でよいものがつくられています。

これからの「かわにし」ももっと美しく、楽しいものに変わっていく必要を痛感。一年を機になんらか新しいセンスをもっていきなさいものと各位のペンタツご協力を願う次第です。